



イマジン
ロータリー

RI 会長：ジェニファー・ジョーンズ

2620 地区ガバナー：浅原 諒蔵

会長：妻鹿 政光 幹事：栗原 伸夫 会場監督：山城 一哲

例会：毎週金曜日 19:00 - 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2022年8月5日(金) 晴 第1591回例会 週報 NO. 4

司 会：竹内公一 会場監督補佐
点 鐘：山城 一哲 会長
国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト

RI 第 2620 地区パストガバナー
安間 みち子 様

会長挨拶



今日はパストガバナーの安間みち子様にお越しいただきました。大変お忙しい中ありがとうございます。

今年度、米山 R 財団委員長の曽根原さんが 3 回例会を担当するということで、今日はその 1 回目です。安間さんは現在当地区の研修委員長及び R 財団委員長をなさっていて、今日の講師にふさわしい方です。今日はロータリーの原点をしっかり勉強したいと思います。

コロナの第 7 波に対して慎重に対応していきたいと思いますが、先ほど Zoom で会長幹事会がおこなわれました。坂田ガバナー補佐の方針として、コロナに対して慎重に対応してほしいということで、1000 名以上の感染者があるときは Zoom 例会なども考慮してほしいとのことでした。

幹事報告



- ・配付資料・・・ロータリーの友
 - ・ガバナー月信 各テーブル
 - ・回覧・・・Rotary
- 浜松市文化振興財団
・例会終了後、第 2 回理事会を桃山で行います。
・次週は休会です。次々週は移動例会です。ホテルコンコルド浜松で行いますので、お間違いのないようにお越しください。

委員会報告

☆内山義之 プログラム委員長



次回移動例会はホテルコンコルド浜松で行います。「かたるべ」としてアルコールをお出ししますが、コロナの状況によっては変わるかもしれません。8 月 10 日までに出欠のご連絡をお願いします。

当日は新会員卓話で、昨年度入会の原さんと露木さんを予定しています。

スマイル

♪山城一哲さん、栗原伸夫さん
本日は RI 第 2620 地区パストガバナーの安間みち子様にお越しいただきました。この後のお話を楽しみにしています。宜しくお願い致します。



♪山口貴司さん
ご無沙汰しております。本日は安間パストガバナーよりメールがあり、「私が中 RC で卓話をするから例会出席してくださいね」と依頼がありました。私は去る 5 月クリニックを閉院し、すずかけセントラル病院でのんびり診療しています。



卓話「ロータリー財団と米山記念奨学会について」

☆ゲスト紹介：鬼頭秀行

米山記念・R 財団副委員長
クラブ協議会の時に、どなたに講師をお願いしようかという話をしたところ、中山会員から、「安間

さんをおいてほかにいない」という推薦があり、エース登場となりました。皆さんご存じのように、安間さんは 2019-2020 年度当地区の初の女性ガバナーです。その時、ハーモニークラブの皆さんが安間さんを盛り上げていて、クラブの連帯感を肌に感じました。それまでもいろいろな機会に安間さんの話を聞きましたが、ガバナーになられてからの安間さんの活動は素晴らしかったと思います。今日はお話を楽しみにしております。



☆安間 みち子パストガバナー



今日は米山記念奨学会と R 財団について話をしてほしいと曾根原さんに頼まれました。パワーポイントを使って話をしようかと思いましたが、それでは地区のセミナーと同じになってしまって面白くありません。私は 25 年の中 RC さんとのお付き合いがありますので、それを交えてお話をしてみたいと思います。

米山記念奨学会については、皆さんのクラブにも奨学生がいて、いろいろご存じだと思います。ハーモニー RC は 1998 年に中 RC が親となって生まれたクラブです。その時の拡大委員は竹内さんと中山さんのお二人になってしまい残念です。その年私はロータリークラブの会員になりました。当時中 RC には女性会員がいませんでしたが、新しいクラブには女性を入れようということで、私ともう一人の女性が入りました。ひょっとすると浜松では最初の女性会員だったのかもしれない。

入会してすぐ、私は米山奨学生のカウンセラーになりました。それは今は名誉会員になられた藤野さんが、「米山の事がよくわかるから、奨学生を預かったほうがいいよ」と勧めてくれたからです。それで中国の女性の方がうちのクラブに来ることになり、カウンセラーも女性のほうが良いだろうということで私になりました。よく覚えているのは、奨学生とカウンセラーの会が米山記念館であり、藤野さんが一緒に連れて行ってくれた時のことです。藤野さんの車はアウディのすごいスポーツカーで、すごいスピードで東名を走り抜けて行きました。「すごい車ですね」と言ったら、「税務署がうるさいから地味な車に変えたんだよ」という返事。じゃあ、その前は一体何に乗っていたのだろう？と思いました。

米山記念奨学会は 1946 年に日本ロータリーの創始者米山梅吉翁が亡くなって、東京 RC が彼の名前が付くものが残したいと、日本に来ていた外国人を支援する奨学金制度を作りました。1952 年の事です。現在当地区には 23 人、日本全国では 900 人ほどの奨学生がいます。予算的には 14 億 5 千万円ほど。そのお金はすべて皆さんの寄付です。各地区の奨学生の人数は前年度の寄付額によって割り当てられます。会員数が減れば寄付額も減りますから支援できる学生の数も減ることになります。私たちは米山奨学生がいるのが当たり前だと思っていますが、県の東部や甲府以外の山梨にはあまり大学がないので、支援したくても学生がいません。ですので、ガバナー公式訪問の際にそういうクラブから、「米山奨学生を世話したことも見たこともない、だから寄付もしたくない」と言われたことがあります。それは不公平だと私も思いました。奨学生をつれて他クラブに卓話に行くということを皆さんにもお願いしたいと思います。私がカウンセラーの時にも伊豆のクラブに連れて行きました。その新幹線の中で、奨学生が「今まで生活のためにレジのアルバイトをしていたけれど、米山奨学生になってからはアルバイトをしないで研究に没頭できるようになり、とても嬉しい」と

言うのを聞いて私はとても感激しました。一人では何もできないけれど、ロータリーの皆と一緒に支援することで彼女の役に立っている。そのことを嬉しく思いました。皆さんにもそういう思いでいてほしいです。大学院生には毎月 14 万円、大学生には 10 万円奨学金を渡しています。

奨学生はどうやって選ばれるかご存じですか？まず指定校というのがあり、地区の米山委員が大学を回って先生に推薦をお願いします。各大学から推薦されてきたら、面接を行い、各クラブに採用された人のお世話をお願いします。米山奨学生と、月 16 万もらう国費奨学生の違いは、ロータリーと関わりができることとカウンセラーが付くということです。奨学生は必ず毎月クラブに来て現金で奨学金を受け取っています。そしてロータリアンと交流をします。カウンセラーは相談に乗ったり、一緒に出掛けたりしています。私たちのクラブでは 6 月ロータリーの甲子園に出場し 18 対 1 で負けてきました。ロータリアンは 45 歳以上でないと出場できないのですが、奨学生は出られるので出てもらいました。このように奨学生はいろいろな活動に参加できますから、ロータリーの事も知ってもらえます。卒業後、ロータリアンになった奨学生は世界に 200 人以上います。台湾の故宮博物館の館長になった人もいます。米山の標語は「日本と母国の架け橋になる」ということで、母国に帰る人もいれば、日本で活躍している人もいます。先日うちに来た静銀の担当者が米山奨学生でびっくりしました。このように皆さんの近くにもきつっているのではないのでしょうか。

何かご質問はありますか？

—最近、男性の奨学生ばかり来るのですが・・・

それはたまたまだと思います。男性の方が少し多いかもしれません。

—中国の奨学生が多くないですか？

それは毎回問題になりますが、大学から推薦されてくるのは中国が多いです。彼らは日本語が上手で、自分の希望をしっかりと語ります。でも中国人ばかりではいけないので全体の半数以上にならないように

しています。私たちのところに来るのはアジア系が多いですが、実際には 120 か国以上の奨学生を支援しています。



ここから R 財団の話です。正式には国際ロータリーのロータリー財団です。ポールハリスが 4 人で最初に会合を開いたのは 2 月 23 日です。その日は静岡県では富士山の日なので、私も覚えています。「世界で善いことをしよう」というキャッチフレーズの下にロータリーができた後、R 財団ができました。奉仕するためにはお金が必要ということで、財団が始まりました。ポールハリスは「自分の葬儀には献花をしないで財団に寄付をしてほしい」と遺言をしたそうで、たくさんのお金が集まり、これが財団の礎になったそうです。今は、「世界でそして地域社会で善いことをしよう」と言っています。いろいろな形で良いことをしていますが、今日お見えの山口先生は「超私の奉仕賞」をもらった方です。これは国際ロータリーが個人のロータリアンを表彰するもので、この地区でもらったのはお一人だけです。私のガバナー補佐年度のことでしたのでよく覚えています。お金を寄付したのでは対象になりません。個人で継続的に奉仕してきた方が認められてのことです。山口先生は何回もネパールに行かれて、なんとネパールの医師免許も持っておられます。そのくらいネパールの支援をしてきました。ご本人から伺いたいと思います。

★山口貴司さん

私の専門は心臓外科で、新橋町で開業をしました。外国人も増えてきていて、その中にネパール人がいました。その 22 歳の青年は心臓弁膜症に虫歯から菌が入って致命的な症状でした。無保険、不法滞在、お金もない状況でどこの病院

も受けてくれません。それで行路病者として医療センターに入院させ、一命をとりとめました。その 1 年後彼は強制送還になり、私は人工弁が心配でネパールまで往診に行きました。何回か行くうちにネパールを詳しく知るようになり、少しでもこういう人々の役に立てればと、開業をやめて向こうに 2 年滞在しました。しかし、つくづく一人では何もできない、ロータリーの組織的な力や財政面・人的バックグラウンドがないと国際貢献は効果が出ないと感じました。

浜松に戻ってきて、外国人が診察に来やすいように土日に診療をするようにしたところ、大変喜ばれました。それは私も嬉しかったです。

しかしとうとう体力的に限界がきて 5 月にやめました。古い患者が多くて、950 人全員を紹介状書いて送りました。静岡県は外国人に理解のあるお医者さんが多いです。ロータリーの活動に参加したドクターや学生の頃ボランティアで参加した人などがいて理解が得られていると思います。 ☆



今のお話にありましたように、中 RC さんは外国人の無料検診会をしていましたよね。

今ロータリー財団は、「あなたも毎年 150 ドルを」で以前の 100 ドルからアップしました。それとは別にポリオに 30 ドル寄付していただいていると思います。それ以外にベネファクター、メジャードナーなどいろいろな寄付があります。ベネファクターは 1000 ドル寄付で成るのですが、以前いた方が退会されて、現在中クラブは 0 人です。

この寄付金は、地区補助金とグローバル補助金に分けられて戻ってきます。地区補助金、皆さんは毎年江之島高校の環境ポスターの支援について使っています。補助金

額は 20 万ですが、会員数が 50 人になると 30 万もらえます。会員数で金額が決まっています。もう一つのグローバル補助金は海外支援の時に使います。これを使うときには、その国のロータリークラブと提携しないといけません。

ロータリークラブの「未来の夢計画」ができたのが 2013 年です。山口先生が活動していたのはそれ以前でしたので、グローバル補助金が使えませんでした。R 財団は 7 つの重点項目があり、それに支援をしようと言っています。山口先生はその半分以上をやっています。

1 平和の構築と紛争予防、2 疾病予防と治療、3 基本教育と識字率の向上、4 母子の健康、5 地域社会の経済発展、6 水と衛生、7 環境です。これ以外にウクライナにも支援をしています。そしてエンドポリオ。今ポリオがあるのはアフガニスタンとパキスタンだけです。7 月 1 日現在で 15 名ほど、あと少しです。

皆さん 10 月に米山梅吉記念館に行かれるそうですね。行くとびっくりしますよ。隣にコメダ珈琲ができました。今日はどうもありがとうございました。

* 今回の SAA 担当 竹内公一さん



*** 出席報告 ***

発表：原 英登 出席委員

会員数	45 名
出席者数	25 名
出席算定会員数	36 名
出席率	69.44%

前々回出席者数	25 名
前々回出席率	78.38%

